

質問者 岱明中学校 坂本 琳 議員 上下水道工務課

7 環境・上下水道について

③地域によって、浄水処理の方法が異なるようだが、それはなぜか。

また、地域によって上水道の次亜塩素酸カルシウムの量は異なるのか、異なるならばその理由は。

(答弁者 企業局長)

岱明中学校 ^{さかもとりん}坂本琳議員の「地域毎の浄水処理方法の違い、また、上水道の次亜塩素酸カルシウム量」についてお答えいたします。

まず、玉名市の水道はすべて地下水を利用しています。地下水は採取される場所によって水質が異なり、各地で採取している地下水も同様です。その中でも岱明地区の地下水は鉄分やマンガンが比較的多く、これを少なくするために浄水場で除鉄・除マンガン装置によるろ過をしています。また、全ての地下水に対して次亜塩素酸ナトリウムを加えて細菌やウイルスを滅菌しています。

ここで使用している、液体の次亜塩素酸ナトリウムですが、

次亜塩素酸カルシウムと同じような成分の物質です。

この2つの大きな違いは、液体と固体の違いです。次亜塩素酸カルシウムについては、プール等で使用する固体になります。

玉名市の水道水において、次亜塩素酸ナトリウムの量に特に違いはありません。この次亜塩素酸ナトリウムは時間がたつにつれて効果が薄れていく傾向があります。浄水場の近くで濃度が高くなり、遠くでは時間経過の関係で低くなる傾向にあります。

また、暑い日が続いておりますが、夏場になると食中毒予防のため、若干濃度を上げているのが現状です。